

漢方の基礎と臨床

〈目 次〉

序	寺師 睦宗
凡 例	

基礎篇

第1章 漢方の歴史

1. 中国における伝統医学の流れ	1
2. わが国における漢方医学の流れ	2

第2章 漢方の基礎理論

1. 「証」とは何か	6
2. 疾病、証候、症状	7
3. 病 因	8
1) 発病の原理	8
邪正斗争	
2) 発病の誘因	9
外因、内因、不内外因	
4. 気、血、水（津液）	16
1) 日本漢方の気、血、水説	16
2) 『内経』の気、血、津液の概念	16
5. 臓腑	25
1) 五臓	25
心、肝、脾、肺、腎	
2) 六腑	34
肝、胃、小腸、大腸、膀胱、三焦	
6. 経 絡	36
1) 経絡とは何か	36
2) 十二経脈の走行と主要症状	39
3) 奇経八脈の走行と主要症状	49
4) 外感病と経絡	55

診断篇

第1章 漢方の症候分類（弁証）

- 1. 八綱弁証56
 - 1) 陰 陽56
 - 2) 表 裏58
 - 3) 寒 熱60
 - 4) 虚 実61
 - 5) まとめ62
- 2. 外感熱病（急性熱性疾患）の弁証63
 - 1) 傷寒と温病63
 - 2) 傷寒の症候分類（三陰三陽）63
 - 3) 温病の症候分類（衛気営血と三焦）70

第2章 漢方の診断技術（四診）

- 1. 望 診77
 - 1) 診察の順序77
 - 2) 望診の実際77
 - 3) 舌 診81
- 2. 聞 診86
 - 1) 聞診の実際86
- 3. 問 診87
 - 1) 十 問88
 - 2) 問診表による問診（付・漢方問診表）88
漢方問診表
- 4. 脉 診98
 - 1) 脉診の方法98
 - 2) 脉の種類100
 - 3) 脉診のまとめ106
- 5. 腹 診107
 - 1) 腹診の意義107
 - 2) 腹診の方法と主なチェックポイント107
 - 3) 腹診のまとめ115

治療篇

第1章 漢方の治療法

1. 隋証治療あるいは弁証論治……………117
2. 本治と標治……………117
3. 同病異治と異病同治……………118
4. 治則八法……………118
5. 漢方薬の性味、効能、帰経……………120
6. 生薬の組み合わせ方……………122
7. 漢方薬の処方構成……………123
 - 1) 君臣佐使……………123
 - 2) 合方……………123
 - 3) 加減方……………124
8. 気血津液と五臓の基本処方……………125

第2章 症状・疾患別漢方治療

1. 全身症状……………127
 - 発熱……………127
 - 微熱……………135
 - ねあせ(盗汗)……………145
 - 冷え症……………149
 - 全身倦怠感……………153
 - 肥満症……………159
 - 体重減少(るいそう)……………163
 - 浮腫……………167
 - 健忘(物忘れ)……………173
 - 不眠症……………179
2. 呼吸器疾患……………183
 - かぜ症候群……………183
 - その他の感冒……………189
 - 咳喘(慢性気管支炎、気管支喘息)……………197
 - アレルギー性鼻炎……………205
3. 循環器疾患……………215
 - 高血圧症……………215

虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）	223
動悸・不整脈	229
4. 胃腸疾患	235
口内炎	235
急性胃腸炎	239
機能性胃腸症	243
胃切除後症候群（ダンピング症候群）	249
食欲不振	253
胃部膨満感	259
悪心・嘔吐	265
げっぷ（嗳気）	271
潰瘍性大腸炎	275
過敏性腸症候群	281
便秘	287
下痢	293
痔疾	301
5. 肝・胆・膵疾患	305
慢性肝炎	305
肝硬変症	315
胆のう炎・胆石症	321
慢性膵炎	327
6. 腎・膀胱疾患	331
慢性腎不全	331
淋証（膀胱炎、血尿、尿路結石）	337
7. 代謝性疾患	345
糖尿病	345
甲状腺機能低下症	353
甲状腺機能亢進症	357
8. 婦人科疾患	361
更年期障害	361
月経困難症	371
不妊症（女性不妊）	375

9. 疼痛性疾患	381
慢性頭痛	381
慢性関節リュウマチ	391
変形性関節症	397
神経痛	401
腰痛	409
肩こり	415
10. 皮膚疾患	421
慢性湿疹	421
アトピー性皮膚炎	431
じんましん	443
にきび(尋常性座瘡)	449
乾癬	453
掌蹠膿疱症	457
手掌角化症	461
11. 眼・耳の疾患	465
めまい	465
耳鳴	471
常用処方索引	477
常用処方外(補遺)処方索引	485
引用文献	488
あとがき	489